

平成 25 年 3 月 4 日

厚生労働省 医政局 医事課  
試験免許室長 岡田 安 正 様

一般社団法人 日本作業療法士協会  
会 長 中 村 春 基



### 第 48 回作業療法士国家試験実施について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動につきましてご支援ご協力を賜り深く感謝いたしております。

さて、2 月 24 日に実施されました第 48 回作業療法士国家試験の実施につきまして、全国の作業療法士養成施設から意見が寄せられました。その中での意見を要約して下記に記載いたしました。次年度の実施の参考にして頂けましたら幸甚と存じます。

謹白

#### 記

1. 第 48 回作業療法士国家試験受験者留意事項には、愛知県の試験場（愛知学院大学日進キャンパス）との記載があるが、試験会場（教室）の案内がなかった。実際に試験場に向かうと試験会場の案内がなく、会場を誘導する係員もいないため、どこが試験会場なのか分からなかった。従って、昨年国家試験が行われていた試験会場に多くの学生が集合していた。8 時半を過ぎても、会場への誘導がないため、受験生に同行した教員が会場を探し会場まで誘導した。受験生へ試験会場での教室案内を、事前に提示して頂きたい。
2. 試験監督者の対応について  
試験会場・会場内試験監督者により、ばらばらな指示と対応がなされ、受験

者に困惑をもたらした。昨年も試験監督者の対応の問題が上がっていたことより、改善を求めたい。

例：

- 1) 学生が、「薬の副作用による口渇のため試験中、机の上に水筒を置きたい」旨を伝えたところ許可されたが、他の監督者が巡回に来た際に不可と言われ、鞆の中にしまうよう指示された。
  
- 2) 「膝掛けを使用してよいか」と試験監督に確認したところ「認めない」と回答されたが、他の監督者では許可された。

以上